

『エコ倶楽部探検隊』2006

「エコ倶楽部探検隊」2006

エコ倶楽部探検隊（環境問題研究教室）が、11月16日（木）和歌山市管工事業協同組合青年部により結成されました。今年も和歌山市教育委員会の協力により、和歌山市内小学4年生を対象に、宮北小学校（児童26名）・直川小学校（児童39名）の児童の皆さんに参加していただきました。

当日は大型バスを貸切り、真砂浄水場（和歌山市水道局）・紀の川大堰“水ときらめき紀の川館”（国土交通省）・中央終末処理場（和歌山市下水道部）の3施設を見学しました。

エコ倶楽部探検隊は、全管連青年部協議会による全国的な事業でもあり、当組合青年部としては、市内全部の小学校に参加していただけるよう長期的な事業展開を目指しています。今年初めて見学した真砂浄水場や各施設の職員の方々に大変親切に案内をしていただき、両校の児童達も熱心に説明を聞いたり、ノートにメモを取ったりしていました。

参加してくれた子供達は、教室から外に出て色々な水道施設を自分達の手で見ることによって、紀ノ川の治水事業の大切さ、水道事業の大切さを感じてもらえたと思います。尚、ご協力賜りました方々には、心よりお礼申し上げます。

後日、参加した両校小学生より感想文を頂きましたので、一部ご紹介させていただきます。

「社会見学」

見学ありがとうございました。最初の真砂浄水場は、飲み水にするため、いろいろな工夫をし、キレイになった飲み水は、すごくおいしかったです。水ときらめき紀ノ川館では、魚道や、紀ノ川大堰の事が良くわかりました。紀ノ川大堰のゲートを一つ上げるのに45分もかかるなんてびっくりしました。魚道にはボラ、コイ、ハゼのような魚、テナガエビがいました。中央終末処理場では、きたない水を虫が食べてくれて薬を使わずキレイにするのがびっくりしました。本当にいい体験になりました。

宮北小学校 4年1組 高橋一太



集合写真 紀の川大堰前にて



真砂浄水場

和歌山市管工事業協同組合青年部

担当役員 田中光一郎

実施日 平成18年11月16日(木)

参加者 総勢77名 内訳：市立宮北小学校 児童26名、教員2名
市立直川小学校 児童39名、教員2名
案内役(青年部役員8名)

「エコ倶楽部探検隊」

おいそがしいなか見学させていただいて有難うございました。ぼくは、とても勉強になりました。

真砂浄水場では、川から取り入れた水をきれいな水にしてぼくたちの家庭にとどけてくれること、紀ノ川大堰では、七つのゲートの内五つがずっとしまっていて外側のゲートだけ洪水のときは、上へあげて、普通ときは、閉めておく事、中央終末処理場では、水は、リサイクルできるとゆうことを教えてくれてありがとうございました。

宮北小学校 4年1組 栗山修杜

「社会見学」

11月16日社会見学に行きました。真砂浄水場、キラメキ館、中央終末処理場です。初めに、真砂浄水場に行きました。どんどん中に入っていくと、大きなため池のような所がありました。もっと進むと浄水場の人がありました。その人は、うすい本を配ってくれました。その本を見ながら話をしてくれました。話が終わると、わたしがさっき思ったため池のような所に連れて行ってくださいました。そこは紀ノ川の水を取り入れておいておく所でした。その中にはエビや魚などがいました。なぜ入っているかというと、紀ノ川の水を取り入れる時に水から入ってくるそうです。ほかに色々つれて行ってくださいました。ポンプ室には、機械がいっぱいならんでいました。次に行ったのは、キラメキ館です。最初にビデオを見せてくれました。なんと、紀ノ川の水が止まってしまった事があるそうです。それで紀ノ川大堰が出来たそうです。役割は、一、必要な水をためておく。二、海水と真水を分ける。三、洪水の時に安全に水を流す。四、自然に優しい川にします。私はすごいと思いました。

直川小学校 4年1組 井関夏希



魚道見学



沈殿池見学